

はまY U



特急“くろしお”新型車両 3月17日より運転開始

Vol.
20
2012.春号

CONTENTS

理念・基本方針……………	2
院長挨拶……………	2
～新しい公共～ 公益財団法人への移行……………	3～4
リハビリのご紹介 ー摂食・嚥下リハビリテーションー…	4～5
消化器科のご案内……………	6
心理相談室からのご案内……………	7
働きやすい職場環境作り ～ワーク・ライフ・バランス～……………	8
ボランティアの集い……………	9
新本館建設工事……………	9
院内研究発表大会……………	10
管理栄養士のおすすめレシピ……………	11
患者さまからの声……………	11

●白浜はまゆう病院 外来診療担当表

小児科外来

診療日 / 月・火曜日 午前・午後
水曜日 午前
木・金曜日 午前・午後
土曜日 午前
受付時間 / 午前8時半～11時半
午後1時半～4時半
診療時間 / 午前9時～12時
午後2時～5時
ふるくぼ かずひろ
担当 : 古久保 和洋 医長

婦人科外来

診療日 / 月～水曜日 午前・午後
木・金曜日 午後
受付時間 / 午前8時半～11時半
午後1時半～4時半
診療時間 / 午前9時～12時
午後2時～5時
くにべ ひさや
担当 : 國部 久也 部長



薬剤師・看護師・理学療法士
作業療法士・言語聴覚士 募集中

白浜はまゆう病院は、夜間・休日を問わず
「365日・24時間の救急医療」に対応しています。



理念

私たちは、地域に根ざした医療機関として、誠実さと思いやりをもって、質の高いサービスを提供し、健康・福祉のレベルの高い地域づくりに努めます。

基本方針

1. 利用者の権利の尊重

私たちは、健康増進から看取りまで、利用者の皆様の気持ちや権利を大切にした医療とケアを提供します。

2. 地域に開かれた存在

私たちは、24時間いつでも、誰でも、困った時は気軽に受診・相談していただける、地域に開かれた医療機関・サービス提供機関を目指します。

3. 協力と連携

私たちは、院内各職種が手を携え、地域の他機関とも協力連携し、健康増進・診断と治療・リハビリテーション・看取りまでの一貫した包括的な地域医療と福祉を提供します。

4. 利用者とのパートナーシップ

私たちは、患者・利用者の皆様と手を携え、安全で質の高い医療・ケアを提供します。

5. 事故・災害への対応

私たちは、大規模な自然災害や事故に対応できるように、普段から備えを強め、いざというときに頼りになる病院を目指します。

6. 質の維持と改善

私たちは、常に研修を行い、時代の水準を維持するとともに、お互いに注意し合い、サービスの質の向上に努めます。

7. 観光地の病院としての対応

私たちは、観光客の人々が安心して訪れられるよう、不慮の事故や病気に対しての診療体制を整備します。

あみだに
みんなが、
いつでも



院長あいさつ

春とは名のみの冷たさが続いておりますが、皆様方には益々ご清祥のことと御慶び申し上げます。また、平素は白浜はまゆう病院に格別の御厚情を賜り誠にありがとうございます。

さて、当院新本館建設工事につきましては昨年から近隣の方々や受診される皆様には大変ご不便ご迷惑をおかけいたしております。また、本年に入り、一連の新聞報道等で御周知のこととは存じますが施工ミスが発見され、大変ご心配をおかけしており申し訳ございません。このことにより大幅な工事期間の遅延は避けられず、皆様には長期間にわたりご不便ご迷惑をおかけすることになり恐縮至極です。しかしながら、完成後数十年は使用されるであろう事を考えると、拙速な工事を行って、常に不安を抱えながら特に入院患者様とともに医療を続けることなど考えるべくもありません。安心できる施工体制を1日も早く立て直し、安全で安心のできる病院を建設したいと考えておりますので引き続きのご支援の程何卒よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様方の益々の御健勝を祈念いたしますとともに、今まで同様、御指導御鞭撻を賜りますようお願いいたします。



白浜はまゆう病院
院長 谷口 友志

～新しい公共～ 公益財団法人への移行

専務理事 西浦 敏和

本年4月1日に、財団法人白浜医療福祉財団は、「公益財団法人」になります。

法人の名称は、「公益財団法人白浜医療福祉財団」に変わります。

公益法人制度改革が進められる中で、本財団は、公益財団法人への移行を目指して、調査・検討を行い理事会・評議員会において審議を進めてきました。

公益財団法人に移行する方向性を定めて、和歌山県担当課とのヒアリングを重ね、2011年10月31日、和歌山県知事に移行申請書を提出しました。

和歌山県公益等認定審査会において、移行の妥当性が審査され、2011年11月16日、認定の基準に適合すると認める旨、県知事に答申されました。この3月19日に、県知事から、認定書が交付され、4月1日に移行登記を行い、公益財団法人となります。

本財団が、19年余にわたって行ってきた白浜はまゆう病院や各診療所、訪問看護ステーションの医療・保健活動が、社会的に認知をいただいたことができます。

公益に携わる存在として、一層その存在は重要なものとなり、責任は重くなります

従来からの公益法人制度は、民法第34条に基づくものですが、明治以後100年余の変遷の中で、時代に適合しない部分もあり、また、省庁の外郭団体の不祥事など、制度見直しの必要性に迫られていました。公益法人制度改革3法は、2008年12月に施行されており、2013年11月末までの5年の間に、新法人に移行しなければなりません。

主務官庁による許可主義の制度から、事業の公益性が判断される制度へと変わり、法人の自律的な意思で、事業の活動領域を拡大することが認められるようになりました。

公益財団法人になると、次のようなプラス面が法令により認められます。

①「公益財団法人」の名称が使用できます。認定を受けるためには、公益性が高くなければならず、複雑な審査を受け、認定によって社会的な信頼を受けることになります。

②公益目的事業に係る法人税は、非課税になります。

収益事業に係る法人税にも、優遇税制が適用されます。

③公益財団法人に寄附をされる個人及び法人は、税制上の所得控除を受けることができます。

公益財団法人への移行を機に、地域医療の充実を願って財団に託される浄財の受入れ制度を創設したいと考えています。

公益財団法人は、社会的な公器としての存在であると言われています。

ドラッカーが言うように「人と社会をより良くする」ために存在するものであり、公益を実現していくための組織体そのものです。考え、活動する組織であり、「永続的な成長」「経営の要素」「会社法的なガバナンス」を要にした法人運営がなされることになります。

新しい定款に定められた目的は、「この法人は、白浜町及びその周辺地域の公衆衛生の向上と地域医療に関する事業を行い、もって地域住民及び観光滞在者等の健康と福祉の増進に寄与することを目的とする。」です。

この目的を達成するために、従来からの11事業を継続していくことが定められています。



今まで以上に、利用者目線で、施設や職種を超えて連携と協力を強め、健康と福祉のレベルの高い地域づくりに使命を果たしたいと思います。

移行により、財団を運営する各組織の役割などは、大きく変わります。

諮問機関から意志決定機関となる評議員会(10～15名)、意志決定機関から業務執行機関になる理事会(7～10名)、監査機関としての監事(2名)、会計監査人(1名)は任意で設置します。

各機関の運営や財務運営は、関係法令に基づき統治性と適切性が強く求められます。

財団法人白浜医療福祉財団は、白浜町など7団体と医師2人の寄附により、1993年2月に設立され、地域に密着し、医療ニーズに応えながら事業を拡充して参りました。

この間に、事業所は7施設に増え、白浜はまゆう病院の外来患者数は1日20数人から300人、病床数は47床から270床、職員数は40数名から370名、事業規模も8.8億円から38.1億円に拡大しました。

これからは、極度の高齢化・人口減少社会に突入しているこの地域において、安心を支える地域包括ケアの取り組みを実のあるものに高めていきたいと思います。

地域に密着し、患者・利用者により添い、健康増進から診断と治療、リハビリテーション、看取りまでの包括的な地域医療と福祉の提供に努めたいと思います。



財団の創立に関わっていただいた方々、これまでご支援をいただきました皆様、事業運営に尽力された役職員の皆様に心よりの感謝を申し上げます。

この度の公益財団法人への移行に際し、お力添えをいただきました皆様には、衷心より厚く御礼申し上げます。

皆様とともに、創立時の熱い気持ちを思い起こし、これまでの歩みの上に公益財団法人としての新たな一歩をしるし、「新しい公共」を担う存在として、地歩を築いていきたいと思います。

摂食・嚥下リハビリテーションについて

～日本摂食・リハビリテーション学会認定士 誕生～

神経内科 小口健部長と言語聴覚科 向井綾子科長が資格認定を受けました

リハビリテーション室 言語聴覚科長 向井 綾子
リハビリテーションセンター長・神経内科部長 小口 健

私たちは普段、意識はしていませんが、食べ物を目やにおいで認識し、口まで運び、口の中に入れて噛み、ゴクンと飲み込むことで、食物や液体を摂取しています。とても当たり前に見えることですが、病気や加齢で口から食べる機能が障害されることがあり、これを摂食・嚥下障害といいます。

一般的に摂食・嚥下障害はそれ単独で起こるわけではなく、何かの病気に付随して起こります。原因として最も多いのが脳梗塞などの脳血管障害ですが、他にはパーキンソン病、重症筋無力症、多発性筋炎などの神経疾患、口腔癌など様々な原因により起こります。

また、年をとるとどうしても身体の色々な機能が低下してきます。今食事に困っていない、何でも食べられる、という場合でも摂食・嚥下機能は低下しています。例えば、年をとると筋力が低下して咳払いが弱くなります。咳はのどに貯まっているものをはき出すのに重要で、咳払いが弱いと誤嚥しやすくなります。こういった加齢による筋力の低下や神経筋機構のアンバランスなどの影響が、ある一線を越えればどなたでも摂食・嚥下障害になる可能性があります。高齢者においては、加齢による筋力低下、予備能力の低下を招き、容易に摂食・嚥下障害を発症しやすくなります。超高齢社会に突入した日本では、摂食・嚥下障害の予備軍とも言える方々が急増していることになります。お正月になると、高齢者の方が、普段食べ慣れていないお餅をつまらせるのは、予備能力の低下を意味しています。



嚥下訓練の様子



ベッドの上での訓練

摂食・嚥下障害になった場合の代表的な問題は

①ご飯や水分がうまく食べられないことによる栄養状態の低下
(低栄養・脱水)

②気道に食べ物が入ってしまい肺炎になってしまう(誤嚥性肺炎)、窒息する

③ご飯が食べられないことによる食べる楽しみの喪失であり、生活の質に深く関わる問題です。

脳梗塞から一命を取り留めても、ご飯が食べられず、痩せて、生きる気力も失ってしまっただけでは何の意味もありません。症状の重さにもよりますが、正しい評価のもと、必要で効果的なリハビリを行い、正しい食事方法を選択することで、患者さんが口から食事ができるようになる手助けをするのが、摂食・嚥下リハビリテーションです。

摂食・嚥下障害のリハビリテーションは、原因となる疾患を治療、管理、リハビリする医師、看護師、栄養士、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士等、他職種が連携し、患者さんご家族の協力を得てチームで取り組むことが基本となります。

摂食・嚥下障害の予後については諸説あります。例えば、脳卒中をおこした患者さんのうち、発症直後に摂食・嚥下障害を認めた人は30～40%ですが、時間とともに障害を持つ頻度が低下するという説もあります。障害が残った場合でも適切な治療により症状がゆっくと改善する場合がありますし、残念ながら改善が難しい場合もあります。その場合には、食べ方や姿勢、食べる食品を調整して、口から上手に食べる方法を模索することになります。

もちろん、もともとの病気が進行する病気の場合、口から食べる機能も低下していくことが多いと言えます。その場合でも、機能の低下にあわせた調整を行うことが重要です。いずれの場合も医療・福祉が連携しながら長期的なプランを立てて対応することが大切になります。



言語聴覚士スタッフ 一同

食べることは単に栄養をとるというだけではありません。味や見た目を楽しみながら、食卓をともにする人とのコミュニケーションを円滑にする役割があります。食事の形態を変えたり、姿勢を調節することは患者さん御本人の本意でないことも多いのですが、できるだけ安全な環境で、食べることが嬉しい!食事の時間が楽しい!と思っていただけるようなリハビリテーションを提供していけるよう、努力していきたいと考えています。

～がんの予防・早期発見のために～

消化器科のご案内

院長 谷口 友志

日常診療において、腹痛、下痢、便秘、嘔吐、食思不振、膨満感など腹部症状を訴えられて受診される患者様には老若男女を問わず頻繁に遭遇します。その中で、消化器内科の専門的診療や内視鏡検査・治療、X線透視下、超音波下の処置などを要する場合に消化器内科医の出番となります。今回はがんの話をおひとつ申し上げます。

現在、我が国の死因のトップは男女とも悪性腫瘍ですが、消化器内科領域は他領域と比べても特にがんが多いのが特徴です。最近のデータではがんの臓器別死亡数のトップは肺がんとなっています。しかし、罹患数（新たに診断されるがんの数）は依然として胃がんが1番で、大腸がんが2番目です。

大まかな統計上の数字ですが、消化器内科領域のがんを合わせた数（胃・大腸・肝臓・膵臓・胆道）は、死亡数では肺がんの2.5倍ですが、罹患数は3.7倍あります。さらに、内視鏡検査などで早期に発見されやすい胃がんと大腸がんを合わせた数では、死亡数は肺がんの1.3倍ですが、一方、その罹患数は2.7倍とその差はさらに顕著となっています。即ち、肺がんと比べ、そのがんで亡くなる割合が低いのです。このことはとりもなおさず、臓器の違いやがんの性質の違いにも関連しますが、やはり取ってしまえば治る時期での早期発見が効を奏しているといえるでしょう。

一方、がんは早期の小さな時期には何の症状もないのがほとんどです。しかも体の内部にあるので外からは眼で見えません。背中中のほくろや小さないぼが人から言われないとわからないのと同じです。



内視鏡検査の様子

早期発見にはどうしても検査が必要です。極早期の場合はお腹を切らずに内視鏡で切除できますし、比較的早い時期のものであれば小さな傷で、腹腔鏡を使ってテレビ画面を見ながら取ることも可能です。ご相談いただければいつでも検査の予約ができますので、是非定期的な検診を受けてください。

また、近年、B型やC型の慢性肝炎に対するインターフェロン治療、胃のピロリ菌除菌療法が開発され、肝臓がんや胃がんの発症を抑制することができるようになって来ました。これらの治療の普及により将来的には罹患数がかなり減少するだろうといわれています。早期発見だけでなく、発症予防につきましてもお気軽にご相談ください。

消化器外来 診療担当表

	月	火	水	木	金
午 前	山崎(初診)	—	谷口(予約診)	—	山崎/谷口(予約診)
午 後	—	—	谷口(予約診)	—	山崎(予約診)

こころの部屋

～心理相談室からのご案内～



臨床心理士
森口 浩司

日に日に春の日差しが暖かく感じられる季節になってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

早いもので今年度も終わりを迎えようとしております。日本では正月と同様に、この3月と4月の間を大きな区切りの時としています。小学校や中学、高校では4月になると進学したり、進級したりといった感じで、今まで自分がいた場所から違う場所へ移動する時期となります。そういった習慣、風習から日本では3月、4月は出会いと別れの季節、新しい生活のスタートといった風潮が一般的にあるのではないかと思います。

こういった春の季節に皆さんはどんな気分になるでしょうか？暖かな日差しの下、清々しい気分になるでしょうか。それとも、つい出歩きたくなるようなウキウキした気分になるでしょうか。それとも、友人との別れを思い出し、さびしさやせつなさを感じるでしょうか。

この季節は私たちの気持ちも変化する時期で、明るい気持ちになる人もいれば、何か新しいことを始めなければいけないのではないかと焦ったり、時間の移ろいを感じ、自分を取り残されているような気分になり、落ち込んだり…。こういう人も多くおられるのではないのでしょうか。こういうネガティブな気分になっているときは、思いきって今までとは全然違うことをやろうという気になりがちです。しかし、一気に大きく変えても、今までの自分がやっていた方法が使えないので、失敗するパターンが多くあります。

新しい季節で新しく何かを始めるときは焦らずに、今までとは一つ何かを変えてみられてはいかがでしょうか。



カウンセリングの様子

白浜はまゆう病院の心理相談室では普段の生活の中や、入院生活の中にある様々なこころの問題について、ご相談をお伺いいたしております。焦ったり、いらいらしたり、落ち込んだり…。何か困ったことがございましたら一度ご相談いただければと思います。

カウンセリング外来のご案内

対象

中学生以上で言葉でのコミュニケーションが可能な方

受付方法

完全予約制

予約受付

月～水、金曜日 9:00～17:00

電話番号 0739-43-6200(代表)

カウンセリング時間

時間に関しましてはご相談に応じます。

看護職のワーク・ライフ・バランス推進

～ワークショップ事業への取り組み～

看護部長 東 直子

日本看護協会では、平成19年度から「多様な勤務形態の導入」を通じて、看護職のワーク・ライフ・バランス(以下WLB)の実現に向けて取り組んできました。

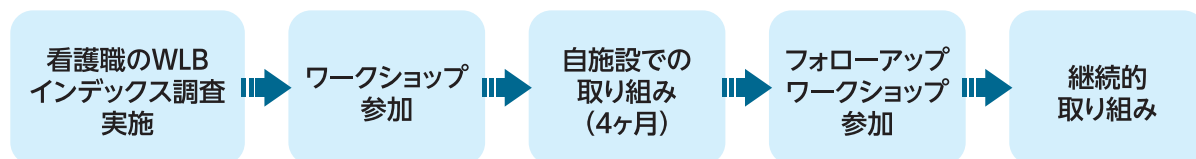
平成22年度から、日本看護協会と都道府県看護協会とが協働して、地域を主体に看護職の働き続けられる職場づくりのため活動を全国的に展開する「看護職のWLB推進ワークショップ」事業がスタートしました。

平成22年度は、8都道府県・31施設が参加し、平成23年度から和歌山県看護協会を含む12県・53施設(和歌山県4施設)が参加して「看護職のWLB指標調査」をもとに、労働環境の改善に向けたアクションプランを立て、1年・2年・3年目のゴールを目指して取り組んでいます。



フォローアップ・ワークショップ会場

ワークショップ参加の主なスケジュールの流れ



今回私達は、働きやすい職場環境を整備していく上で、客観的な分析・評価を行いながら、働きやすく・働き甲斐のある職場づくりを通して、安定的な人材確保ができる事を目的にこの取り組みに参加しました。まず、取り組みを始める前に、自施設の現状把握をするために「看護職のWLBインデックス調査」を行いました。インデックス調査結果を基にSWOT分析で問題を抽出し、指導者の方のアドバイスを受けながら、次のことをアクションプランにあげました。

- ①超過勤務の削減
- ②組織への愛着、病院理念ミッションの理解と共感
- ③制度の認知度を上げる

WLB推進委員会を立ち上げ、院長・事務長・看護部・事務部のメンバーで、月1回の委員会を開催し、計画・評価・検討を行い改善に取り組んでいます。4ヶ月の取り組みのなかで、超過勤務調査や看護師・看護補助者業務の内容調査整理を行い、リネン交換業務の病棟間での協力体制や忙しい病棟への応援体制づくりができ、超過勤務の削減に繋がってきています。

WLB委員会活動を行っていく中で、新たな問題も生じてきましたが、アクションプランを立て調査・評価・検討を行うことで、課題が明確になり対策が立てやすく改善へと繋げることができると思います。今後も、データ分析を大切に、委員会での意見を反映しながら、働きやすい働き甲斐のある職場づくりに継続して取り組んでいきたいと思っています。

ボランティアの集い

2月23日(木)病院本館2階会議室で、2011年度「ボランティアの集い」を開催しました。ボランティアの皆様との貴重な意見交換の場として毎年開催しており、今年は、ボランティア、社会福祉協議会、病院スタッフあわせ総勢25名の参加となりました。

谷口院長、社会福祉協議会石田会長の挨拶に引き続き、病院側からは新本館建設後のボランティア室の概要や施工ミスについての説明が行われました。

その後、行われた意見交換では、ボランティアの皆様から洗濯ボランティアの活動に関する質問や、新本館建設後の洗濯室に対する要望等のご意見をいただきました。

病院ボランティア募集中

案内・介助ボランティア

正面玄関・受付待合において車イスを必要とする患者様の介助や受付案内等を手伝っていただける案内・介助ボランティアを募集しています。



内容：車の乗り降りの補助、受診科への案内・介助、受診手続き書類の代筆

園芸ボランティア

病院内の花壇の手入れをしていただけの方、1年を通じてながく活動していただける方を募集しています。



内容：車花壇の整備、花の手入れ、草取り、水やり等

問い合わせ先

興味のある方は下記連絡先までお気軽にお問い合わせ下さい。
白浜はまゆう病院 総務課：0739-43-6200(代表)
白浜町社会福祉協議会：0739-45-2711

新本館建設工事

新本館建設工事において、施工ミスの発生により、地上1階のコンクリートの基礎工事中で、建設工事が中断した状態となっています。患者様はじめ地域の皆様のご期待に反し、また、耐震化交付金対象事業の主旨に反する極めて遺憾な事態が続いております。

当財団では、工事請負契約が誠実に履行されなかった経緯を重く受け止め、今後は、既設工事の解体撤去により原状を回復し、新規の請負業者に工事の再委託をして本事業の完成を図りたいと考えています。

一日も早くこの事態を克服し、新本館の完成に全力を傾けたいと考えております。

皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第12回院内研究発表大会

～過去最高 284名が参加して盛大に開催～

2012年2月16日18時30分より、コガノイベイホテルで院内研究発表大会が開催されました。大会には、職員や委託事業所、地域の医療機関などから総勢284名の参加があり、第二部の講演には一般の方の来場もあり、盛会のうちに終了しました。

研究発表に先立ち勤続10年の永年勤続表彰が行われ、次の方々が受賞されました。



永年勤続表彰者

永年勤続表彰 被表彰者氏名(勤続10年)

白浜はまゆう病院

副 院 長	伊藤 浩二
整形外科部長	金本 成熙
薬局主任薬剤師	木下 純
リハビリテーション室作業療法科	
主任作業療法士	神谷 克二
手術室副主任看護師	大仲 高廣

本館4階看護師	塩田 友紀
新館3階准看護師	楠 美穂
新館3階看護補助者	山本 公子
医事課係長	布袋 仁也
総務課事務員	尾野 啓介

日置診療所

看 護 師	中田 美幸
-------	-------

第1部 研究発表



西富田クリニック 中地の発表

- | | |
|---|-----------------|
| ①「津波被害を想定した通勤通路」 | 総務課 尾野 啓介 |
| ②「外来患者における家庭での医療情報収集の実態」 | 西富田クリニック 中地 佐妃 |
| ③「オムツかぶれ改善への試み」 | 4階病棟 中田 全紀 |
| ④「当院のリハビリテーション室における新入職員を対象とした教育プログラムの作成と取り組みについて」 | リハビリテーション室 平 和晃 |
| ⑤「放射線科画像運用について」 | 放射線科 太田 整 |
| ⑥「複数の憩室より同時発症した大腸憩室炎の1例」 | 医局 辻 淳 |

第2部 講演「癒しの音楽でリフレッシュ」

講師:聖福寺住職 関守 研悟 先生

関守先生は聖福寺の住職を務められる傍ら、音楽を使った講演活動を各地で行っておられます。

キーボードの音に併せて多くの歌を歌っていただき、来場していた全員にとっては、癒しのひと時となりました。また、普段、緊張することが多い私たちにとてもリフレッシュの機会となりました。



私たちが
おすすめする

カラダにいい とっておきレシピ

第12回

～彩あざやか 菜の花とベーコンのパスタ～

寒い季節も終わり、春がやってきました。
春の野菜、菜の花を使った簡単メニューを紹介します。
菜の花はビタミンC、鉄、カルシウムに富んでいます。
また、独特のほろ苦さがあり、パスタによく合います。



食養科・管理栄養士
後藤 拓志

菜の花とベーコンのパスタ

材料＜一人前＞

菜の花……………80g
ベーコン……………20g
にんにく……………1片
柚子の皮……………適量
オリーブオイル…大さじ1杯
塩コショウ……………適量
パスタ……………100g

栄養価(1人分)

エネルギー……………624kcal
塩……………2.9g
カルシウム……………133mg
鉄……………2.9mg
ビタミンC……………45mg



作り方

- ①鍋でお湯を沸騰させ、塩を加える。その間に菜の花、ベーコン、柚子の皮を切る。
湯が沸騰したらパスタを鍋へ入れる。
- ②ベーコンとみじん切りにしたにんにくをオリーブオイルで炒める。
- ③パスタを鍋から上げる1分前に切った菜の花を鍋に入れ、一緒に茹でる。
- ④パスタと菜の花を鍋から上げ、2の鍋に移し、塩コショウで味を整える。
- ⑤④を皿に移し、切った柚子の皮をトッピングして出来上がり。

患者さま からの Voice

Q 泊の人間ドックを受けました。2日目は、胃のバリウムと診察だけでしたが、診療に1時間待ちました。後から検査を終えてきた人が、先に診療を終え、帰っていかれました。システムの検討をお願いします。

A 長い間お声かけもできずお待たせし、申し訳ありませんでした。胃透視検査時には、検査前に胃の動きを静止する薬を注射してから撮影に入りますが、その影響で心拍数が上がることもあります。そのため、体調が落ち着くまでお時間を空かせて頂き、聴診・触診等の診察に入ってもらうことがあります。皆様が出来るだけ早く終わるように、各検査と診察の進行状況に注意しながら順番を調整させて頂いております。また、健診コースの違いや胃検査の種別、婦人科検診の都合、糖尿病など疾病上の問題などで早く食事を取る必要がある方などは、診察の順番が入れ替わることがございます。

長い間お待ち頂かなければならないような場合には、ご説明のうえご案内するように努めますので、よろしくお願い致します。

人間ドック・健診センター長

Q 受付の人間がとても不親切。もっと病人をいたわれ。

A 病院職員が最も大切にしなければならないことについて、ご指摘を受けたことを重く受け止めています。早速、ご指摘をテーマにして、受付職員の会、事務職員会議をもち、改めなければならない言動について話し合いを行いました。不親切な態度、患者様へのいたわりに欠ける対応は、接遇の基本に反することです。不安をもたれて受診される患者様の思いが汲める職員でなければなりません。心を込めた笑顔と挨拶の大切さを再確認するとともに、患者様が重なったときの対応の仕方を工夫すること、事務的な言動を改めることなどについて確かめあいました。当院の理念にありますように「誠実さと思いやりをもって、質の高いサービスを提供」が出来るように職員を指導して参ります。

事務長

白浜はまゆう病院診療担当表

電話 **43-7880**(受付) **43-6200**(代表)

診療科			月	火	水	木	金	土
内科	内科1(初診)	午前	山崎 幸茂	佐藤 啓	伊藤 揚荘	榎本 宗浩	高井 恵美	高村 竜一郎
		午後	伊藤 揚荘	木下 正博	松本 潤	辻 淳	赤松 功博	
	内科2(再診)	午前	木下 正博	伊藤 浩二	松尾 晃次	松尾 晃次	山崎 幸茂	
		午後	松本 潤	伊藤 浩二		松本 潤	山崎 幸茂	
	内科3(再診)	午前			赤松 功博	佐藤 啓		
		午後			佐藤 啓	榎本 宗浩		
	内科4(再診)	午前		齊藤 豊	中川 武正		伊藤 浩二	
		午後			立田 秀明		伊藤 浩二	
	内科5(再診)	午前		伊藤 揚荘	谷口 友志	伊藤 揚荘	谷口 友志	
		午後	辻 淳	井神 仁	谷口 友志		木下 正博	
	外科	午前	当番医	曾我 耕次	西村 真澄	曾我 耕次	西村 真澄	当番医
	脳神経外科	午前				中北 和夫		
整形外科	整形1(初診)	午前	飯田 高広	金本 成熙	飯田 高広	金本 成熙	岩切 健太郎	
		午後				ギプス装具外来		
	整形2(再診)	午前	金本 成熙	リウマチ外来			飯田 高広	
小児科		午前	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋
		午後	古久保 和洋	古久保 和洋		古久保 和洋	古久保 和洋	
婦人科		午前	國部 久也	國部 久也	國部 久也			
		午後	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也	
皮膚科		午前						県立医大・京都大学
		午後		県立医大・京都大学				
眼科		午後			芦田 淳			
耳鼻咽喉科		午後				県立医大		
循環器外来		午前		伊藤 浩二			伊藤 浩二	
		午後		伊藤 浩二			伊藤 浩二	
呼吸器外来		午前			松尾 晃次	松尾／榎本		
		午後				榎本 宗浩		
アレルギー・呼吸器専門外来		午前			中川 武正			
腎臓内科		午前		齊藤 豊				
泌尿器科外来		午前	柏木 秀夫	柏木 秀夫	柏木 秀夫	柏木 秀夫	柏木 秀夫	当番医
神経内科・ リハビリテーション専門外来		午前	小口 健	廣西 昌也	石口 宏		小口 健	
		午後	廣西 昌也	石口 宏		小口 健		
緩和ケア外来(予約制)		午後			伊藤 浩二			
心療内科 漢方外来		午後			立田 秀明			
膠原病・糖尿病専門外来		午前		伊藤 揚荘		伊藤 揚荘		
糖尿病専門外来		午後		井神 仁				
消化器専門外来		午前	山崎 幸茂		谷口 友志		山崎／谷口	
		午後			谷口 友志		山崎 幸茂	
循環器・高血圧専門外来		午前						有田 幹夫(月2回)

※診療担当医が変更になることがあります。ご了承ください。

2012.3.2現在

	受付時間	診療時間	●休診 土曜日午後・日・祝
午前(月～土)	8:30～11:30	9:00～12:00	※診療時間外(夜間・休日)に 具合が悪くなったときは、 日時に関係なく受付します ので、白浜はまゆう病院へ 電話でご連絡ください。
午後(月～金)	13:30～16:30	14:00～17:00	
皮膚科(火)	13:00～15:45	13:30～16:00	
糖尿病外来(火)	14:00～16:00	14:00～16:00	
眼科(水)	12:00～14:30		
耳鼻咽喉科(木)	14:00～16:30	14:30～17:00	
循環器・高血圧専門外来(土)	8:30～11:00	9:00～12:00	

(財)白浜医療福祉財団

白浜はまゆう病院 ●理事長 水本 雄三 ●院長 谷口 友志

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739(43)6200 FAX.0739(43)7891 【E-mail】hamayu@mb.aikis.or.jp 【URL】http://www.hamayu-hp.or.jp/

- 西 富 田 ク リ ニ ッ ク
- 鮎 川 診 療 所
- 日 置 診 療 所
- 三 舞 診 療 所
- 川 添 診 療 所
- 訪問看護ステーションたんぽぽ

〒649-2334 和歌山県西牟婁郡白浜町才野1番地

〒646-1101 和歌山県田辺市鮎川583番地の3

〒649-2511 和歌山県西牟婁郡白浜町日置206番地の1

〒649-2532 和歌山県西牟婁郡白浜町安居3番地

〒646-0301 和歌山県西牟婁郡白浜町市鹿野1103

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地



TEL.0739(45)3600 FAX.0739(45)3678

TEL.0739(48)0031 FAX.0739(48)1005

TEL.0739(52)2002 FAX.0739(52)4192

TEL.0739(53)0001 FAX.0739(53)0001

TEL.0739(54)0037 FAX.0739(54)0037

TEL.0739(43)5226 FAX.0739(43)0682